

2022年8月17日(水)第三水曜祈祷会

ヨハネの福音書13:1~11

「極みまで愛されて」

【背景】

- ①過ぎ越しの祭りは、神がイスラエル人をエジプトから救い出してくださったことを記念する祭り。
- ②弟子たちと過ごす最後の晚餐。13章1節は、いわゆる序文の役目。
- ③13章からイエスさまの『告別の説教』が始まる。17章まで。

【観察と黙想】

1. 極みまで愛されたイエスさま(13章1~3節)

- ①「彼らを最後まで愛された」とはどういう意味ですか(欄外注を参考に)
→
- ②悪魔はどうやってイスカリオテ・ユダの心にイエスを裏切ろうとする思いを入れたのでしょうか。
→
- ③イエスさまは「神に帰ろうとしていることを知っておられた」とはどういうことですか。
→

2. しもべとなられたイエスさま(4~7節)

- ①「上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰にまとわれた」とは何を意味していますか。
→
- ②弟子たちはどんな気持ちで自分の足を洗ってもらっていたと思いますか。
→
- ③イエスさまの「今はわからなくても、後でわかるようになる」とは、何を意味していますか。
→

3. 罪をあがなわれたイエスさま(8~11節)

- ①イエスさまが弟子たちの足を洗うことは、何を意味していましたか。
→
- ②イエスさまは「水浴した者は、…全身きよい」とは、どういうことですか。
→
- ③イエスさまはどうしてユダが裏切ることを知っていながら、何も言われなかったのですか。
→

【適用と分かち合い】

- ①イエスさまはどんな思いで、この最後の晚餐の席におられましたか。
- ②弟子たちはどうして、自分たちがしもべの役目をしなかったのですか。
- ③私たちがイエスさまに足を洗っていただくことは、何を意味していますか。